

洗礼準備会

熊本聖書フォーラム
2021年5月

洗礼準備会の日程

- 5月9日 10:00 (オンライン 5月11日 20:00)
洗礼とキリストの弟子
洗礼が象徴する5つのこと
- 6月13日 10:00 質疑応答 証し文の提出

洗礼式の日程

- 7月11日
- 7月25日

洗礼式は、清水自宅のお風呂場を使用します。
受洗者は、白っぽいTシャツなどを着用ください。
洗礼式終了後は、お湯のシャワーで体を温め、
すぐに着替えをしていただきます。

洗礼は罪や汚れを洗い流すものではない

- 人は**神を信じたとき**、すべての罪と汚れから清められた
- これを「救われる」または「義と認められる」という
- 洗礼は、**すでに救われた信者が受けるもの**
- バプティズー（動詞）=あるものを水などの中に沈める
 - 使徒1:5（直訳）「ヨハネは水の中にバプティズーしたが、あなたがたは聖霊の中にバプティズーされるであろう、もう間もなく」

救われる（義と認められる）条件

- 人は、**信仰**を通して、神の**恵み**によって救われる
- 自分の行いによるのではない
- 創世記15:5~6 主のことばとアブラハムの信仰
 - 「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」
 - 「あなたの子孫はこうになる。」
 - アブラハムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

何を信じるのか

- 主のことば→聖書による啓示は、時代によって進展してきた
- よって、信仰の内容は、時代によって変わる
- 今の時代の信仰の内容は、**福音の3要素**（Iコリ15:3~4）
 - キリストは、私たちの罪のために死なれたこと（贖罪の死）
 - キリストは、墓に葬られたこと（仮死ではなかった・無罪）
 - キリストは、3日目によみがえられたこと（復活・永遠の体）

洗礼を受ける資格

- 信仰を通して、神の恵みによって救われた人
- その信仰の内容は、福音の3要素
- キリストを信頼し、これからの人生をキリストに従って歩みたいと願う人
 - こういう人を「キリストの弟子」という

キリストの弟子

- 信じるとは、単なる知識ではない
- 信じるとは、イエス・キリストを信頼すること（ロマ10：11）
- イエス・キリストを信頼すると、その人はどうなるか
 - 自分の人生をキリストにゆだねる
 - キリストに従うことを喜びとして人生を歩んでいきたい
- 洗礼は、キリストの弟子となることを表明する礼典（マタイ28：19～20）

キリストの弟子が負う荷は軽い

- マタイ11：28～30
- 29 「わたしは心優しく、へりくだっているから」
- 30 「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い」
- イエスの昇天の後は、さらに軽い
 - 聖霊の助け（ヨハネ14：16、16：7）
 - イエスによるとりなし（ヘブル7：24～25）

洗礼が象徴する5つのこと

1. イエスの御名によって受ける→私たちはキリストのものとなった
2. 水を用いて→キリストが私たちの罪を洗い清めてくださった
3. 水の中に沈む→キリストとともに死んで葬られた
4. 水の中から上がる→キリストがよみがえられたように、いのち（新しい性質）にあって新しい歩みをする
5. キリストにつき合わされた→必ずキリストの復活と同じになる

1-① 私たちはキリストのもの

主・イエス・キリストの御名によって洗礼を受ける

- マタ28：19 「父、子、聖霊の御名（単）によって」
- 使徒2：38 「イエス・キリストの名によって」
- 2：36 「今や主ともキリストともされたこのイエス」
- 8：16 「主イエスの御名によって」

1-② 主・イエス・キリスト

- 「主」：神の名ヤハウェの代替表現
- 「イエス」：子なる神が人となられたときの名
- 「キリスト」：「油注がれた者」、油は聖霊を象徴
王となる者に、油が注がれた
- イエスは、主ともキリストともされたお方（使徒2：36）
- このお名前によって洗礼を受けるのは
私たちは信じたときに、
このお方の所有となったことを象徴するため

1 - ③ 救いは失われない

- 1コリ3：23
「あなたがたはキリストのものであり、キリストは神のものです。」
- ヨハネ10：29
「わたしに彼らをお与えになった父は、・・・」
「だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。」

信者は、受けた救いを自分で捨てることも不可能

2. 罪を洗い清めてくださった

- 1コリ6：11
主イエス・キリストの御名によって
私たちの神の御霊によって
あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。
- 主イエス・キリストの御名を信じる信仰を通してキリストが私たちの罪を洗い清めてくださった

キリスト・イエスにつくバプテスマ

- ロマ6：3
- 「キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた」
- イエスを信じたときに、信者は聖霊の中にバプティゾーされた（使徒1：5）
- 同時に聖霊が信者の中に入り、住むようになられた
- これが、キリスト・イエスにつくバプテスマ

3. キリストとともに死んで葬られた

- 聖霊の中にバプティゾーされたということは、そのとき死んだということ
ちょうど人が水の中に浸けられ、肺の中にも水が入ってしまえば、死ぬのと同じ
- キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた
= その死にあずかるバプテスマを受けた
- ロマ6：4a
- キリストとともに葬られた

キリストが よみがえられたように

- ロマ6：4
- 私たちはキリストとともに死んで葬られた
- キリストが 御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように
- 私たちも いのち（新しい性質） にあって 新しい歩みをするため
- ロマ6：5 必ずキリストの復活とも同じようになる

4. いのち（新しい性質）によって歩む

- ロマ6：4b
- 自分の力で新しい歩みをするのではない
- 父なる神がキリストをよみがえらせたように
- 信者も神によって
- いのち（新しい性質） にあって
- 新しい歩みをするようにされた

5. キリストの復活と同じになる

- ロマ6：5
- キリストとつぎ合わされて
- キリストの死と同じようになっているのなら
- 必ずキリストの復活と同じになる
- では、私たちの内に住む罪の性質はどうなるか

古い人（罪の性質）は無力化した

- ロマ6：6
- 古い人（罪の性質）は、キリストとともに十字架につけられた
- 罪の性質は、なくなっていないが、減びて（無力化して）、信者はもはや罪の奴隷ではない
- 信者には、新しい性質に従って歩むという選択が可能
- 罪の性質を小さくしよう、無くそうとする努力は✕

もし、罪の性質に従ってしまったら

- Iヨハネ1：9
- 気づいたとき、すぐに
- その日を振り返って、寝る前に
- 父なる神に祈り、自分の罪を言い表しましょう
- 言い表すとは、自分の言動や思いが神のみことばに照らして罪がありましたと認めること
- そうすると、気づいていない罪も含めてすべての悪からきよめられ、神との交わりが回復する

次回 6月13日は

- あらかじめ出された質問にお答えします
- 提出された証し文の内容を確認します
- 7月の洗礼式の進め方をご説明します

5月末までに証し文と質問を

- 郵送またはメールにてお送りください
- 郵送の宛先は
〒860-0085 熊本市北区高平3丁目22-13
熊本聖書フォーラム 清水誠一宛
- メールアドレスは
seiichi.shimizu777@gmail.com

証し文とは

- 信仰を持つに至った自分の体験を書く
- 初心を振り返るときのために（黙2：4～5、3：3）
- 他の人への励ましのために（Iテサ1：2～10）

証し文の内容

- 教えられたこと
- 体験したこと
- これらを書くことを通して、神の素晴らしさ（愛、恵み、聖さなど）を証言する
- 原稿用紙3～4枚（1200～1600字程度、超えても可）

証し文の構成（起承転結）

- 起：救いを受ける前の自分
- 承：救いに至る過程や出来事
- 転：信じた内容
- 結：救いを受けたあとの変化

証し文を書く時の注意

- ありのまま、自分の言葉で
- 大げさな表現、説教調や説得調は、避ける
- 要点を絞る（自叙伝にならないように）
- 自分の失敗や弱さを隠す必要はないが、そればかりは無意味
 - 人は誰も罪人であり、汚れている
 - そこから神が救ってくださったことの喜びや感謝が伝わればよい
- 証し文は、自分の罪に関する証言ではなく、神が自分にどれほどのことをしてくださったのかという証言